

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	農業振興事業				②事業番号	3402	
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	平成 7 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	<input type="radio"/> 法令	<input type="radio"/> 条例	<input type="radio"/> 規則	<input type="radio"/> 要綱	<input type="radio"/> 計画等	⑦その他 法令等の名称: 泉南農業振興地域整備計画書	
⑦実施手法	<input type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 補助・負担	<input type="radio"/> その他		
⑧関連予算科目コード	款	5	項	1	目	3	細目 1
⑨担当部署	市民生活環境部		⑩担当課名	産業観光課		会計 一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

[1] 事務事業の目的・事業内容

(1) 対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 農業振興地域	① 農業振興地面積	ha
② 農業従事者数	② 総農家数	戸
(2) 事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
・農業地域の自然資源の多面的機能の保全等に配慮しながらほ場整備、農道及び用排水路施設の整備等農村集落道路等各種の農業農村整備事業を積極的に進める。	① 農用地面積	ha
	②	
	③	
(3) 意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
・農業従事者の減少への対応、高収益農業の展開にとって土地利用の高度化及び水資源の合理的利用、並びに農業経営規模の拡大を図り、本市農業の活性化を図る。 ・農業生産条件と生産環境との調和のとれた快適で住みよい地域づくりを推進する。	① 基盤整備済面積	ha
	計算式	
	②	
	計算式	
	③	
	計算式	
(4) 結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
・道路・水路・農地等の農業基盤整備により生産性の向上を図る。 その他の体系上の位置付け (3-1-1-3): 農作物のブランド化に繋がる。 (3-1-1-4): 担い手の確保と育成に繋がる。	政策(章)	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち
	施策大(節)	1 大地と海からの恵みとしておいしく安全な食料を供給し続けるとともに、魅力的な農業と漁業のあるまちをめざします
	施策中	1 農業の振興
	施策小	1 農業基盤の整備

[2] 各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R3目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標	①	農業振興地面積	ha	411	411	411	411	—	
	②	総農家数	戸	617	617	502	502	—	
	活動指標①	農用地面積	ha	124	124	124	124	—	
	活動指標②								
	活動指標③								
	成果指標①	基盤整備済面積	ha	18.6	18.6	18.6	18.6	—	
	成果指標②								
	成果指標③								
	事業費	投入人員	正職員	人	1.11	1.11	1.11	1.11	
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費		人件費(投入人員*単価)	千円	8,999	8,560	8,472	8,472		
		直接事業費	千円	5,138	5,469	9,061	9,421		
	総事業費	千円	14,137	14,029	17,533	17,893		農業振興地域整備計画書策定のため事業費が増加。	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0			
	府支出金	千円	0	0	0	0			
	受益者負担金	千円	0	0	0	0			
	その他特定財源	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	14,137	14,029	17,533	17,893			

[3] 事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	本市農業経営規模の拡大を図り、本市農業の活性化を図るため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	これまで別所地区、六尾地区、童子畑地区のほ場整備を行なったが、ほ場整備が必要な地区は依然として多い。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

